



2019年ジャンボリー・オン・ジ・エア実施要項

2019年8月29日現在

名 称：2019年ジャンボリー・オン・ジ・エア（略称 JOTA）

目 的：・世界スカウト機構が主催する公式国際行事で、スカウトがアマチュア無線行事に参加し、電波を通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的とする。



- ・免許を持たないスカウトは、参加局の交信を聴取し各地や各国のスカウト活動を理解する。
- ・この行事を機会とし、関連するチャレンジ章、技能章の取得を目指す。

日 時：2019年10月18日（金）00：00～20日（日）24：00 72時間
（世界各国とも、それぞれの標準時間で実施する）

参加方法：・スカウト関係者であれば、誰でも参加することができる。
・班・隊・団・地区・県連盟で、それぞれのプログラムとして実施し、また、個人・任意のグループ（クラブ局等）として参加するなど、形態は問わない。
・参加（聴取も含む）したスカウト関係者は所定の様式（日本連盟のホームページに今後掲載される）による報告書を提出する。

1. アマチュア無線の免許を所有する者

- ・国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、互いの氏名・所属団・所在地・活動状況等を話し合い、記録する。

2. アマチュア無線の免許を持たない者

- ・日本では、免許を持たない者の交信は、電波法で禁止されているため、参加局の交信を聴取することによる参加とする。
- ・所属する隊・団・地区・県連盟でプログラムとして実施される場合は、これに参加する。
- ・周辺で実施されない場合は、一般のアマチュア無線局の協力を得て参加する。
- ・行事終了後は、協力者の氏名、住所、局名を記載し、所定の様式の報告書を提出する。

運用方法：・世界スカウト周波数に定められている下記の周波数、またはその前後の周波数において、スカウト仲間を呼び出すか、応答し交信相手を決める。
・相手局が決まったら、他の周波数に移り交信を開始する。ただし、周波数帯によっては、混信のため移れない状態もある。
・使用できる周波数と電波形式は、周波数帯ごとに電波法で細かく定められている。
・日本アマチュア無線連盟の定める各周波数帯の「アマチュア無線バンド使用区別」に従う。

【世界スカウト周波数】

周波数帯	電話（SSB）	電信（CW）	日本国内での周波数
3.5MHz 帯	3.690MHz & 3.940MHz	3.570MHz	3.545MHz
3.5MHz 帯の周波数帯は、日本では割り当てられていない。			
7MHz 帯	7.090MHz & 7.190MHz	7.030MHz	7.090MHz & 7.190MHz
14MHz 帯	14.290MHz	14.060MHz	14.290MHz
18MHz 帯	18.140MHz	18.080MHz	18.140MHz
21MHz 帯	21.360MHz	21.140MHz	21.360MHz
24MHz 帯	24.960MHz	24.910MHz	24.960MHz
28MHz 帯	28.390MHz	28.180MHz	28.390MHz
50MHz 帯	50.160MHz	50.160MHz	

- ・エコーリンクなどインターネットを使ったシステムでも運用されます。

【国内でよく使用される周波数】

周波数帯	電話 (SSB)	電話 (FM)
50MHz 帯	50.250MHz	指定なし
144MHz 帯	144.250MHz 144.340MHz	指定なし
430MHz 帯	指定なし	433.340MHz

※上記の周波数については、地域によって異なる。FMは、スカウト周波数および前後 20kHz きざみの周波数を利用する。

- ・スカウト周波数は、ボーイスカウトの独占周波数ではないので、使用する際には、その周波数が使われていないかどうかよく聞き、他の局に迷惑をかけないように心掛ける。また、他のアマチュア無線局の理解と協力が得られるように正しい運用マナーに努めて運用する。
- ・スカウト周波数だけに固定せずに前後の周波数も有効に使用する。
- ・一般アマチュア無線局とも積極的に交信し、JOTAおよびスカウト運動について理解を深めてもらうようにする。

※下記のホームページも参考にしてください。

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ http://www.jalyss.org/jota_joti.html

- 参加規定：**
1. 世界スカウト機構 JOTA-JOTI サイトにアクセスし、登録（代表者、グループ）を行う。
詳細は、<https://www.jotajoti.info/>を参照してください。
 2. 世界スカウト機構および日本連盟の「セーフ・フロム・ハームポリシー」を確認する。
<https://www.scout.org/safefromharm>と <https://www.scout.or.jp/sfh/>を参照のこと。
 3. 日本連盟 JOTA-JOTI サイトにアクセスし、申し込みフォームより、参加申し込み（代表者、グループ）を行う。
詳細は、<https://www.scout.or.jp/member/event/jota-joti/>を参照してください。
 4. 参加局は、免許を受けている出力・周波数・電波型式の範囲内で運用する。
 5. 電波法その他諸規則を厳格に守り、日本アマチュア無線連盟の定める各周波数帯のアマチュア無線バンド使用区別に従う。
 6. 呼び出しは次の要領により、これに対し応答する。
無線電話 CQジャンボリー 無線電信 CQ J AM
 7. 世界スカウト周波数は、原則として呼び出しだけに利用する。

参加報告：参加したグループは、**11月8日(金)**までに、日本連盟宛に以下の3点を提出する。報告書提出者には、世界スカウト機構発行の参加証を参加人数分（オペレーターと参加スカウト数の合計数）送付する。下記の2. の提出の無い者には、参加証は送付されない。

1. 参加報告書および写真

- ・報告書は日本連盟ホームページの報告書フォームから入力する。詳細は今後、日本連盟ホームページに掲載される。また、送られた写真は世界スカウト機構への報告書や日本連盟ホームページ等に使用される場合がある。

2. 世界スカウト機構発行の参加証返信用封筒

- ・参加証が入る大きさのものを用意すること。
- ・参加証の枚数と重さを考慮し、相当額の切手を必ず封筒に貼付すること。
- *参加証の大きさ・重さについては郵便ハガキとほぼ同等です。（以下、参考）

重さの目安：5枚＝25g、14枚＝50g

切手の目安（総重量かつ封筒が定型封筒の場合）：25gまで＝84円、50gまで＝94円

- ・封筒には必ず返信先、所属団名を記載すること。

※提出に際し、返信用の封筒が小さい、また切手貼付金額（重量）不足の場合は「参加証」の送付ができませんので、ご注意ください。

- ・アマチュア無線局免許（コールサイン）切れに注意！再免許申請を忘れないようにしましょう！
- ・アマチュア無線局の無線設備の操作は、無線従事者の資格者でなければ行うことはできません。

以上